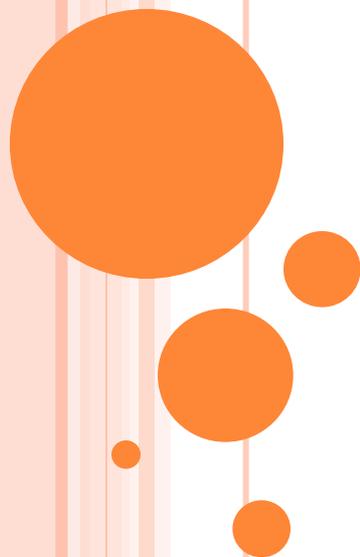


山形県職員トークライブ

～教えて先輩！～

(獣医師職)

令和7年8月20日



自己紹介

防災くらし安心部
食品衛生企画担当

食品安全衛生課
佐藤

<入庁後の経歴>

平成26年 入庁

庄内食肉衛生検査所

平成31年 置賜食肉衛生検査所

令和 3年 村山保健所生活衛生課

令和 7年 食品安全衛生課（県庁）

獣医師が働く職場（山形県）

農林水産部

3

農業技術環境課

畜産振興課

4



畜産研究所
養豚研究所

41



家畜保健衛生所

農林獣医師48名

防災くらし
安心部

健康福祉部

3

食品安全衛生課

健康福祉企画課

23



食肉衛生検査所

4



衛生研究所

10

保健所

衛生獣医師40名

県庁(食品安全衛生課)の仕事 (例)

- ▶ **他自治体**との連絡調整
- ▶ 各保健所で発生した食中毒などの事案について、公表
- ▶ 県や課の**イベントの企画や調整**
- ▶ 食品衛生監視員の育成のための研修会を**企画開催**



関係する公所の業務に必要な予算を要求
(各公所が業務しやすいように財源を確保)

保健所の仕事（例）



- ▶ 食品取扱施設へ立入、**衛生管理の指導**、許可申請受付、食品取扱者への講習
- ▶ 食品営業のための施設設備などの相談受付
- ▶ **保護動物の譲渡**のための講習会、迷い犬の捕獲、動物に関する相談対応、動物愛護センターの管理

食肉衛生検査所の仕事（例）

- ▶ 安全な食肉の流通（**と畜検査**、と畜場の**衛生管理指導**、輸出肉の監視）
- ▶ 病変、病畜の原因究明
- ▶ **調査研究**



衛生研究所の仕事 (例)

- ▶ 保健所、医療機関からの**検査依頼対応**
(ノロウイルス、レジオネラ菌、麻疹ウイルスなど)
- ▶ **感染症病原体に関する研究**
(呼吸器系ウイルス感染症、マダニ媒介性感染症など)
- ▶ 保健所と連携した**調査事業**
(結核の分子疫学調査など)

最近公開された論文

公衆衛生活動報告

山形県における時空間三次元地図を用いた新型コロナウイルス感染症流行可視化の取り組み

海戸 隆次¹、藤本 泰典²、山田 敬子³、石川 仁⁴、加藤 龍二⁵、加藤 丈夫⁶、山下 英俊⁷、岩藤 忠之⁸、水田 寛也⁹、中谷 友樹⁹

目的 感染症の流行状況を的確に示すためには、時・場所・人の3つの情報の統合が必要となる。本報告では、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の発生履歴について (いつ・どこで・どのように) COVID-19 の発生履歴を時空間マップ (時空間マップ) を用いて可視化した。本報告では、山形県内における COVID-19 の発生履歴を可視化した。方法 山形県内の COVID-19 の発生履歴を時空間マップ (自由に回転、拡大・縮小可能な3次元グラフィックスを含む Web アプリ) として公開した。山形県内を100m単位でグリッド化し、各グリッドに COVID-19 の発生履歴 (発症日、発症人数) を記録した。また、各グリッドに COVID-19 の発生履歴 (発症日、発症人数) を記録した。さらに、県外からの感染者 (帰県者) の発生履歴も記録した。決定した時空間マップは、山形県衛生研究所ホームページ上で公開し、随時更新した。

結論 2020年8月に時空間マップの公開を開始し、以降、山形県で観測した感染波までの流行状況を示した。その中で確認された、第一波 (2020年3月) から第二波 (2021年1月) までで共通していた流行の特徴をまとめ、ホームページ上で公開した。あわせて、その特徴を踏まえた感染対策 (山形県外での流行) の人々の流れの増加の把握、飲食店クラスターの発生防止、および家庭内感染の子供) を地域保健に展開した。2022年1月以降の第六波では、19歳未満の世代、そして子育て世代の世代の感染が顕著な特徴を示し、山形県内における感染波を踏まえていたことから、これら施設に対する感染対策の重要性を再認識し、感染対策を呼びかけた。

公衆衛生誌

Journal of Hospital Infection 142 (2018) 116–119

Available online at www.elsevier.com/locate/jhin

Journal of Hospital Infection

Journal homepage: www.elsevier.com/locate/jhin

Short report

Nosocomial *Mycobacterium tuberculosis* transmission by brief casual contact identified using comparative genomics

J. Seto^{a,*}, Y. Otani^b, T. Wada^c, K. Ikeda^d, K. Araki^e, K. Mizuta^a, T. Ahiko^{d,f}

結核 (2019)

^a Yamagata Prefectural Institute of Public Health, Yamagata, Japan
^b Shouwa Public Health Centre, Yamagata
^c Nagasaki University, Nagasaki, Japan
^d Murayama Public Health Centre, Yamagata
^e Murayama Public Health Centre, Yamagata

ARTICLE INFO SUMMARY

Article history:
Received 18 October 2018
Accepted 2 January 2019
Available online 7 January 2019

Keywords:
Casual contact

This paper reports a case of nosocomial transmission of *Mycobacterium tuberculosis* by brief casual contact. Routine variable number tandem repeat typing in Yamagata Prefecture, Japan found that 4 tuberculous clinical isolates from two patients showed indistinguishable genotypes. The patients had an epidemiological relationship of sharing a waiting room in a hospital on the same day. As comparative genomics detected only two single nucleotide variants between the isolates, it was concluded that recent tuberculous transmission occurred in the waiting room. These results indicate that the physical sep-

Jpn J Infect Dis. 2020 Dec 25; doi: 10.7883/joken.JIID.2020.967. Online ahead of print.

Proposal for the recognition of a new disease concept from Japan; Parechovirus A3-associated myalgia

Katsumi Mizuta¹, Yoko Aoki², Kenichi Komabayashi³, Tatsuya Ikeda⁴

Affiliations + expand
PMID: 33390436 DOI: 10.7883/joken.JIID.2020.967
Free article

Abstract

パレコウイルスA3型 (Parechovirus A3) に関連した筋痛 (myalgia) は、2008年以降、山形県 (Yamagata) において繰り返し発生している。本報告では、2011年、2014年、2016年、および2020年 (2020年) にわたって山形県で発生した筋痛症 (myalgia) の発生履歴を時空間マップ (時空間マップ) を用いて可視化した。本報告では、山形県内における筋痛症 (myalgia) の発生履歴を可視化した。方法 山形県内の筋痛症 (myalgia) の発生履歴を時空間マップ (自由に回転、拡大・縮小可能な3次元グラフィックスを含む Web アプリ) として公開した。山形県内を100m単位でグリッド化し、各グリッドに筋痛症 (myalgia) の発生履歴 (発症日、発症人数) を記録した。また、各グリッドに筋痛症 (myalgia) の発生履歴 (発症日、発症人数) を記録した。さらに、県外からの感染者 (帰県者) の発生履歴も記録した。決定した時空間マップは、山形県衛生研究所ホームページ上で公開し、随時更新した。

筋痛症 (myalgia) は、2008年以降、山形県 (Yamagata) において繰り返し発生している。本報告では、2011年、2014年、2016年、および2020年 (2020年) にわたって山形県で発生した筋痛症 (myalgia) の発生履歴を時空間マップ (時空間マップ) を用いて可視化した。本報告では、山形県内における筋痛症 (myalgia) の発生履歴を可視化した。方法 山形県内の筋痛症 (myalgia) の発生履歴を時空間マップ (自由に回転、拡大・縮小可能な3次元グラフィックスを含む Web アプリ) として公開した。山形県内を100m単位でグリッド化し、各グリッドに筋痛症 (myalgia) の発生履歴 (発症日、発症人数) を記録した。また、各グリッドに筋痛症 (myalgia) の発生履歴 (発症日、発症人数) を記録した。さらに、県外からの感染者 (帰県者) の発生履歴も記録した。決定した時空間マップは、山形県衛生研究所ホームページ上で公開し、随時更新した。

筋痛症 (myalgia) は、2008年以降、山形県 (Yamagata) において繰り返し発生している。本報告では、2011年、2014年、2016年、および2020年 (2020年) にわたって山形県で発生した筋痛症 (myalgia) の発生履歴を時空間マップ (時空間マップ) を用いて可視化した。本報告では、山形県内における筋痛症 (myalgia) の発生履歴を可視化した。方法 山形県内の筋痛症 (myalgia) の発生履歴を時空間マップ (自由に回転、拡大・縮小可能な3次元グラフィックスを含む Web アプリ) として公開した。山形県内を100m単位でグリッド化し、各グリッドに筋痛症 (myalgia) の発生履歴 (発症日、発症人数) を記録した。また、各グリッドに筋痛症 (myalgia) の発生履歴 (発症日、発症人数) を記録した。さらに、県外からの感染者 (帰県者) の発生履歴も記録した。決定した時空間マップは、山形県衛生研究所ホームページ上で公開し、随時更新した。

J Hosp Infect

Jpn J Infect Dis

佐藤さんの仕事ってどんなもの？

○ ある1日の業務

- 8 : 3 0 業務開始（メール確認など）
- 9 : 0 0 国・他自治体からのメールを各公所へ
- 9 : 3 0 他県からの調査依頼（食中毒関連調査）等を各保健所に照会
- 1 2 : 0 0 お昼休憩
- 1 3 : 0 0 オンライン会議の準備
- 1 3 : 3 0 獣医学生のインターンシップ対応について、保健所・衛生研究所・食肉衛生検査所とオンライン会議
- 1 5 : 0 0 食品衛生（不良食品）に関する各保健所の調査結果の取りまとめ
- 1 6 : 0 0 他県や各保健所からの問合せに対応
- 1 6 : 3 0 議会資料作成・メール確認
- 1 7 : 1 5 業務終了



印象に残っている業務

食肉衛生検査所

- ▶ 牛・豚・羊・馬など様々な動物に対し、視診・触診のみならず、微生物学的検査から病理検査等まで行い、多角的に病気を診断していく過程が**おもしろい!**突き詰めて研究もしていただけます！
※自分は非定型リンパ腫の病理診断が**熱かった!!**

保健所

- ▶ 食品営業施設に対する衛生指導により、衛生状況等が改善し、みるみる施設が綺麗になっていったときの**達成感!!**
- ▶ 負傷動物を保護・治療し、新しい飼い主に譲渡した**達成感!!**

県庁（食品安全衛生課）

- ▶ 山形県内の食品衛生の情報が集約され、調整・発信する責任があり、大規模な事業等を行った後は、**爽快感**は大きいです!!
厚生労働省（国）や全国の自治体と直接やり取りをするので、山形県の食品衛生の**最前線に立っている充足感**があります!!

県職員は色々な業務を経験でき、どの仕事もやりがいのあるお仕事です。

本日、説明を聞いて県職員のお仕事のことを少しでも知ってもらえたとしたら嬉しいです！

ぜひ私たちと一緒に働きましょう！



自己紹介

村山総合支庁産業経済部家畜保健衛生課

中央家畜保健衛生所 獣医師 野崎 陸

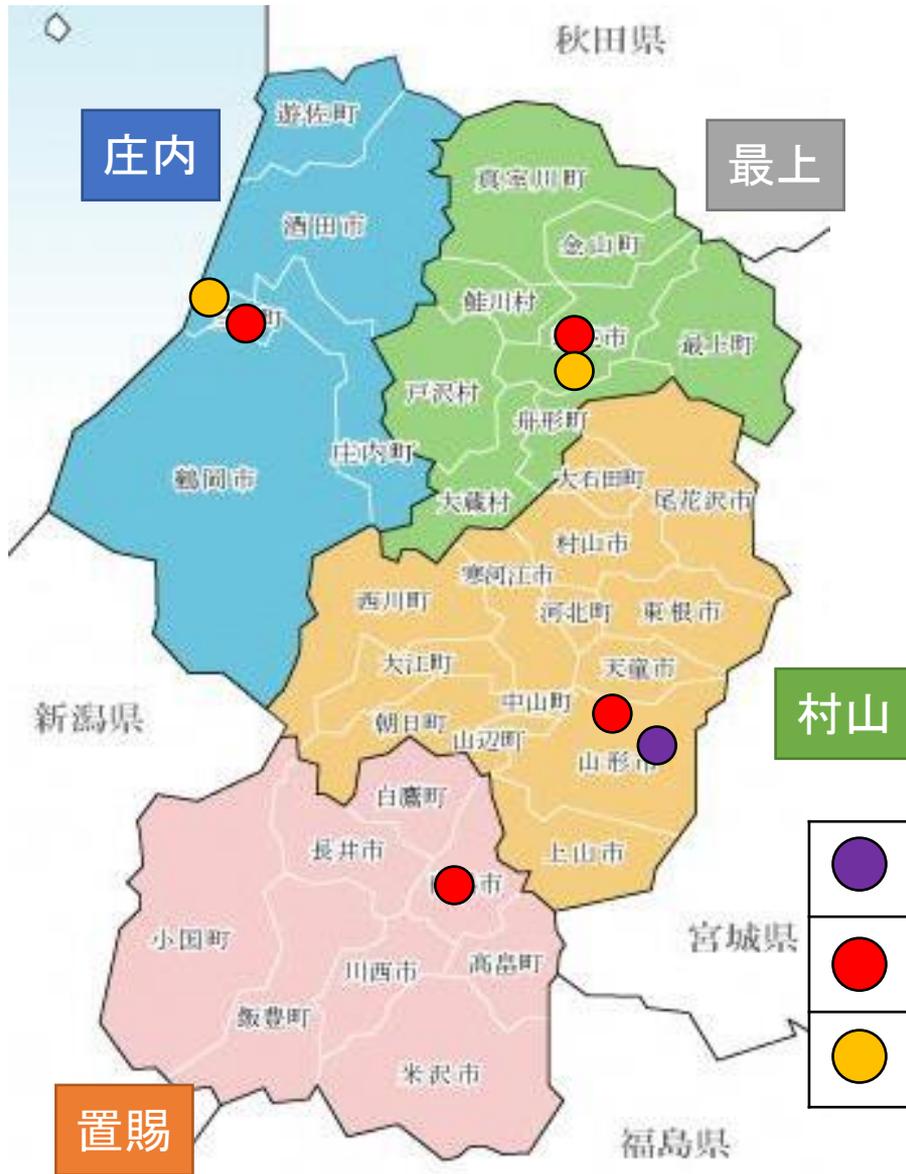
麻布大学

【入庁後の経歴】

- H30.4～R3.3 山形県中央家畜保健衛生所 業務担当
(R2.7～12 茨城県つくば市の動物衛生研究所で研修)
- R3.4～R7.3 山形県中央家畜保健衛生所 病性鑑定担当
- R7.4～ 山形県中央家畜保健衛生所 業務担当



農林獣医師の職場

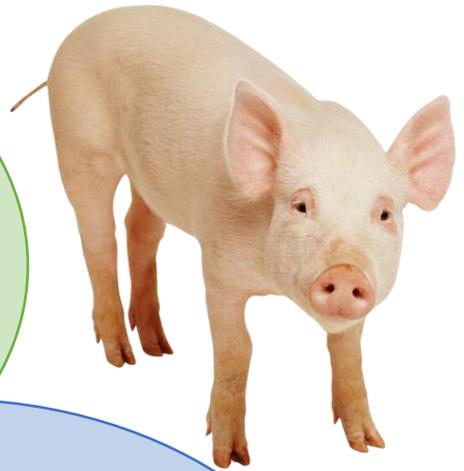


山形日和



●	県庁(畜産振興課)	3名
●	家畜保健衛生所	41名
●	畜産研究所・養豚研究所	4名

家畜保健衛生所の仕事



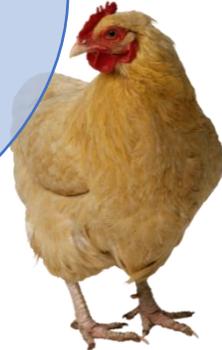
家畜防疫業務

- ・家畜伝染病の発生予防・まん延防止
- ・危機管理体制の整備

家畜衛生業務

- ・家畜衛生対策による生産性向上
- ・動物用医薬品の適正使用・流通促進
- ・畜産物の安全性の確保

病性鑑定業務

- 
- ・不明疾病の原因究明
 - ・家畜伝染病の検査、診断

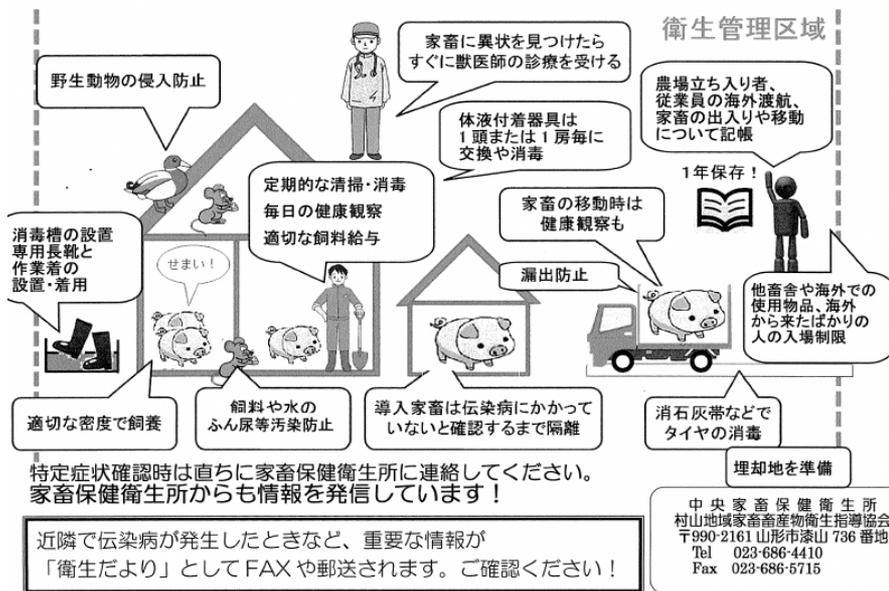
家畜防疫業務



ヨーネ病検査のための採血



ミツバチ腐蛆病の検査



防護服着脱演習

家畜衛生業務



放牧場でのピロプラズマ病検査



鶏舎環境のサルモネラ検査



鶏舎の空調確認



農場HACCP認証取得等支援

病性鑑定業務



死亡牛の解剖



子牛の下痢検査



馬の鼻腔スワブ採取



ニホンミツバチの検査

病性鑑定の流れ

①不明疾病の発生



診療獣医師
または飼養者等

②病性鑑定依頼

③立入・採材

⑦結果フィードバック

各地域
家畜保健衛生所

④病理解剖
細菌検査等
実施



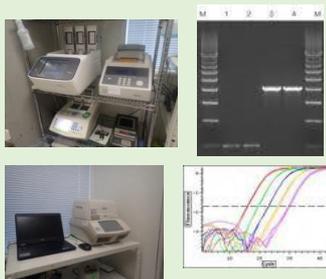
高度な手技・専門性の
高い検査が必要な場合

⑤検査依頼

⑥回答

中央家保 病性鑑定担当
○細菌 ○ウイルス ○病理 ○生化学

遺伝子検査
(PCR)



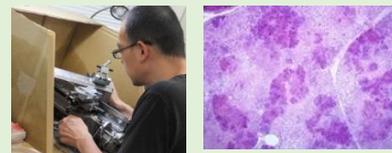
血液生化学検査



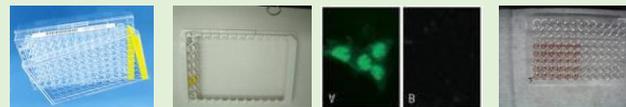
細菌検査(同定等)



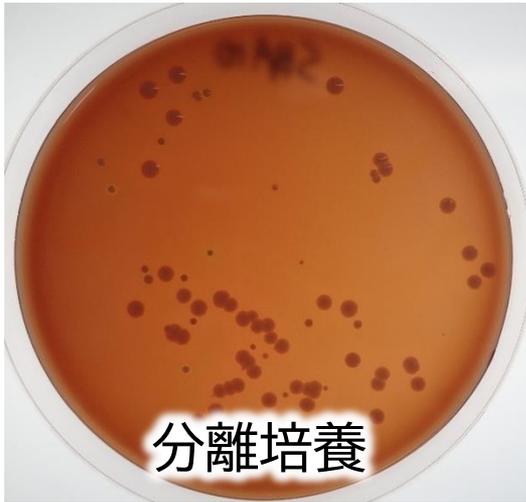
病理組織学的検査



ウイルス検査(抗原検査等)



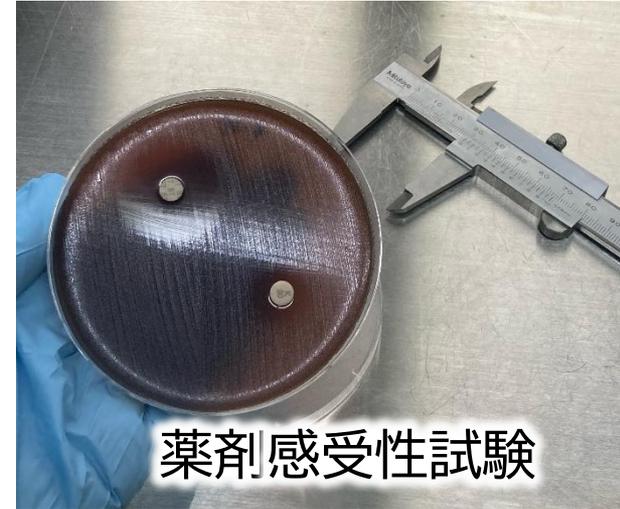
担当業務(細菌検査)について



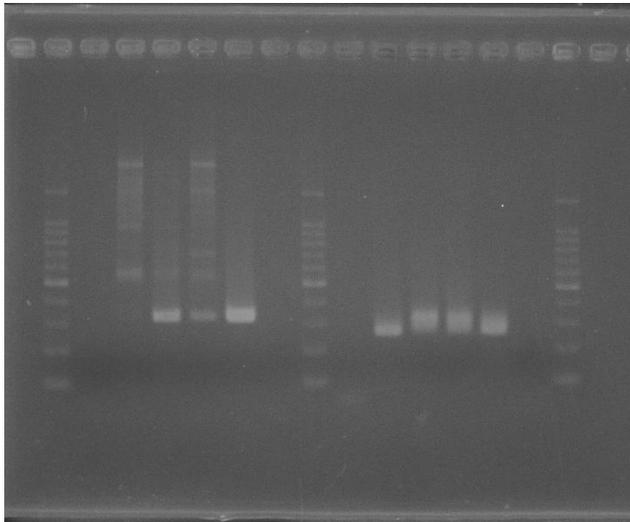
分離培養



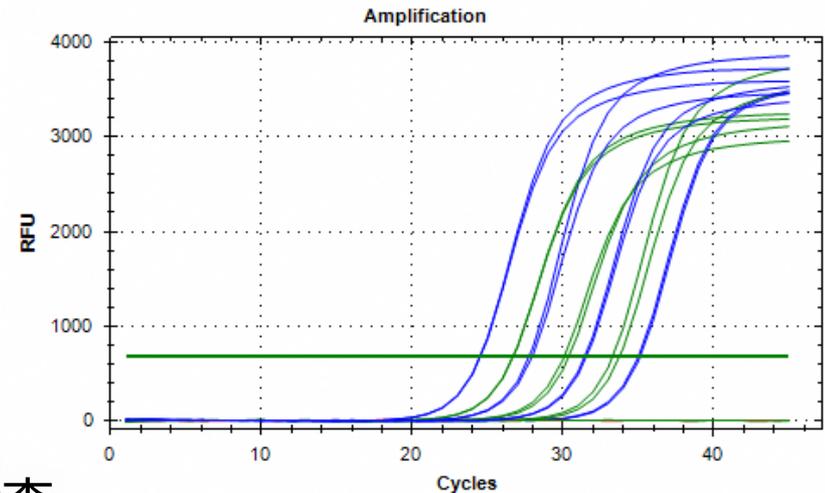
生化学性状検査



薬剤感受性試験



遺伝子検査



ある一日のスケジュール

8:30 業務開始(採血、検査の準備)、出発

10:00 放牧場到着(採血、牛の健康状態チェック)

11:30 放牧場出発

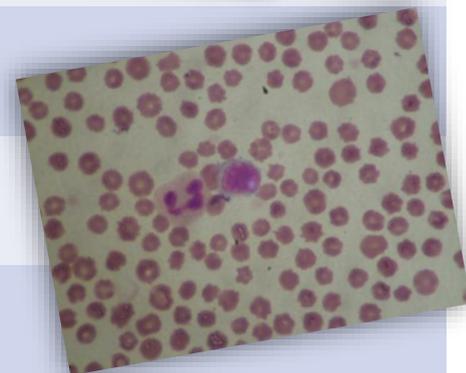
12:00 お昼休憩

13:30 帰庁、検査材料の処理・検査

14:30 他家保依頼検体の処理・検査

16:30 結果報告、翌日の検査の準備

17:15 業務終了



山形県農業総合研究センター畜産研究所

乳牛、肉用牛 約 150頭
鶏 約 1,000羽

家畜改良部 }
飼養管理部 } 職員全体 約50名
草地環境部 } (獣医師 3名)



畜産研究所の研究課題

家畜改良部

- 受精卵移植を活用した和牛増産
- 和牛肉特有の甘い香りの育種改良に関する研究
- 人工授精用の凍結精液生産



草地環境部

飼養管理部

- OPU(経膣採卵技術)や受精卵の製造に関する研究
- ICTを活用した暑熱ストレスモニタリングに関する研究
- やまがた地鶏の育種改良



山形県農業総合研究センター養豚研究所



日本に2つしかない
豚専門の試験場のひとつ



種雄豚 約60頭 精液供給
種雌豚 約20頭
子豚等 300頭



研究員 4名 (うち獣医師1名)
技能員 7名
総務 3名 (兼務)

研究所で飼養する家畜の健康を守る 診療、治療も大切な仕事





山形県の畜産に貢献できる仕事



インターンシップについて

パターンA

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
中央家畜保健衛生所		庄内食肉衛生検査所	畜産研究所	村山保健所 衛生研究所

パターンB

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
中央家畜保健衛生所				
防疫業務		衛生業務		病性鑑定 ウイルス/病理/細菌/生化

担当者までご相談ください！